

第4回グリーンイノベーション戦略推進会議ワーキンググループ におけるご議論について

重要分野の方向性について、各委員の専門分野を中心に、以下の構成要素等についてのコメント、御議論。

構成要素	対応の方向性の例
①目標年限を明確化した、野心的な目標	目標年限までの長期間にわたる一貫した支援 ●コストを下げるための、研究開発プロジェクトの加速 ●量産に向けた、実証設備の導入支援
②規制改革・標準化などの制度整備	●社会実装を大きく進展させる制度改革 ●国際標準づくり
③企業のコミットの促進	●企業が宣言する「ゼロエミ・チャレンジ」の進化 ●資本市場との対話、開示の促進
④企業へのインセンティブ付け	●予算・税などによる、研究開発・設備導入支援 ●大規模資金調達時の公的なリスク補完 ●国・地方自治体などの公共調達における優遇
⑤国際連携	●米国、欧州、アジアなどとの具体的な連携プロジェクト
⑥国内・海外での市場規模	●上記①～⑤による市場創出効果の算定